

Challenge to the future

長きに渡り、我が国のモノづくりをけん引する自動車産業、
そして、世界的な EV の普及や、IoT や AI の進展―。
その堅調な需要を支えるべく、
高度な品質管理と生産性の両立が宿命づけられた、
高級帯の矯正検査工程では、
性質の異なる多品種の鋼材を、
極めて均一な板厚精度と、
高い生産効率で産み出し続けている。

鋼種や条件によって様々に異なる、
矯正時の最適テンションを導き出すのは、
長年現場で蓄積された確かな腕―。
それを、過去のデータと経験を元に、
いかに速やかに最適テンションを見つけ出すか。

確かな“腕”と“目”で、
品質と効率を極めた生産体制を実現

更なるラインスピードアップを果たすのは、
日々現場で鍛錬された確かな目―。
矯正から検査を同一ラインで一体化することで、
速やかに異状を察知する『判定力』がより強化され、
更なる生産性向上を実現する。

果たして、矯正検査ラインでは、
現場で培われた確かな“腕”と“目”により
急激な需要増に速やか且つ柔軟に対応できる
高品質、高効率な生産体制を実現している。

飽くなき進化を支える、
大同の技術の歴史がまた1ページ……



DMK PROJECT

2023

CHITA STEEL STRIP PLANT
LEVELING INSPECTION
Scene.25

大同モノづくり改革 知多帯鋼工場
矯正検査工程

